

## ハイブリッド環境下の大学図書館における学術情報サービスの構築

渡邊, 由紀子  
九州大学附属図書館

<https://doi.org/10.15017/17922>

---

出版情報：九州大学, 2009, 博士（学術）, 論文博士  
バージョン：  
権利関係：



## 6. 結論

本論文では、学術情報基盤としての大学図書館の機能や活動を、利用者と情報を有機的につなぐ、人、組織、システム、場の視点からとらえ、様々なレベルで多種多様な情報が混在するハイブリッド環境下にある大学図書館が、どのように学術情報サービスを構築し展開していくべきかについて実証的に研究した。

システムの面では、急増する電子ジャーナルを中心とした電子リソースへのアクセスを利用者へ提供する方法を改善し、利用可能な電子ジャーナルの可視性を高めることが課題であった。そこで、従来の電子ジャーナル集とOPACの問題点を管理面とサービス面から整理し、電子ジャーナル管理システムやOpenURLリンクリゾルバなどの新しいシステムや技術を活用し、既存システムのOPACと相互連携させる電子的サービスを提案した。この電子的サービスでは、電子ジャーナル管理システムのナレッジベースを整備し電子ジャーナル集を充実させることで、利用者に対し電子ジャーナルへの網羅的かつ正確なアクセス提供が可能となった。また、リンクリゾルバを用いて情報検索の流れを整理することで、利用者が一次資料を入手するまでの手順を劇的に改善した。さらに、図書館所蔵資料検索の最も標準的な入口であるOPACに電子ジャーナル集のデータを登録し、リンクリゾルバを実装することによって、電子媒体と紙媒体資料のシームレスな同時検索を実現した。以上により、リンクリゾルバを活用することで、電子ジャーナル、二次資料データベース、Web上のリソース、図書館所蔵の紙媒体資料などの学内外の様々な学術情報を結びつけ、それらの情報を最大限に利用する環境を利用者へ提供する方法を提案し、実現して有効性を示した。

組織の面では、従来型の物流管理を中心とした図書館組織のままでは、電子リソースの増加による新しい業務とサービスに十分な対応ができなくなっているため、電子リソース関連業務の運用に適した組織体制を検討する必要がある。そのため、電子ジャーナル導入による図書館業務の変化を管理面とサービス面から詳しく分析し、それらの変化に対応するために、従来型の管理系業務とサービス系業務、図書業務と雑誌業務という区分による組織体制から脱却し、電子リソースに関連する管理業務とサービス業務を一体化する組織改革を提案した。旧来の枠組みにとらわれないこの組織改革により、電子リソースサービス運用体制の強化、電子リソースの契約とサービス窓口の一本化、迅速な意思決定と機動性の確保、全学共通経費

である多額予算を管理・執行する責任体制の整備，出版社等との交渉力強化，図書館資料の印刷版から電子媒体への移行促進などを実現した。また，契約とサービスの担当者を集中化して一箇所に配置したことで，情報共有の向上と意見交換の活性化が行われ，均質で高度なサービスの提供が可能となり，図書館員の人材育成と新しい電子リソースや技術に柔軟に即応できるようになった。さらに，学内に分散する利用者サービスの担当者やシステム系部署と連携する体制を整えることで，全学的な電子リソース利用支援体制が強化できる方法を提案し，それらの組織改革を実現し，有効性を示した。

人の面では，ハイブリッド環境下の大学図書館は，電子リソースサービスと共に伝統的な紙媒体資料の利用度を高めるためのサービスを充実させる必要があるため，図書館サービスを支える図書館員の専門的な知識と技術を向上させる方法を検討することが課題であった。まず，図書館員に求められる専門性と人材育成の方策を概観し，図書館で実施する職員研修により専門性を育成する方法に注目した。そして，伝統的な紙媒体資料に対する図書館員の専門性を育成する研修方法を，九州大学附属図書館「ラテン語古刊本書誌作成研修会」の実施によって得られた知見を基に，実施体制，研修形式，開催頻度と時間，課題資料の選択，研修内容共有の項目毎に，具体的に提示した。この研修方法は主に古典籍資料に対応するものであるが，図書館員の知的関心の拡大，古刊本を取り扱う際の調査手法の習得，図書館が所蔵する貴重資料の再評価，研修内容の蓄積と共有に実効性があることを示した。

ハイブリッド環境下の大学図書館が効果的に学術情報サービスを構築し展開するためには，本論文で提案し，九州大学附属図書館において実現した，電子リソースの利用環境整備，電子リソース関連業務を統合する組織改革，伝統的資料に対する図書館員の専門性育成という方法が極めて有効であると評価できる。

今後は，今回論じなかった「場所としての図書館」を加え，人，組織，システム，場の視点からとらえた大学図書館の新しい姿を総合的に考察していきたい。